



あ
ぐ
ら

発行

角館中学校PTA広報部

印刷 / 謄写堂印刷



翠明

栄えある30期生

進め、翠明！輝く道を～夢・希望・心をひとつに～

大きく羽ばたいてほしい

学校長 藤澤 昌

な成長を遂げ、角館中学校をより良い方向に導いてくれたことを、たいへん嬉しく思っています。

卒業おめでとうございます。

これからの人生、良い事ばかりでなく、辛い事もたくさんあります。しかし、「すずかけの道」の歌詞にもあるように、くじけそうになったときに支えてくれるのは、皆さんの家族、ふるさと角館、そして一緒に学んだ仲間です。このことをしっかりと心に刻んで、「翠明」の字のごとく、卒業してからも明るくさわやかに羽ばたき続けてほしいと願っています。

立ち向かう勇氣

PTA会長 茂木 督

翠明学年の皆さん、そして保護者、ご家族の皆様方、ご卒業おめでとうございませう。創立三十周年記念の節目に卒業を迎えられて、喜びもまた一入かと感じております。

卒業生の皆さんは三年間どんなことを学んできましたか。

勉強はもちろんのこと、部活やスポーツ、友達との友情も学んできたと思います。そんな中、辛く苦しい場面は何度も訪れたと思いますが、皆さんは無事それを打開し解決して進んできたと思います。

苦勞や困難は、それを乗り越えた時、自分を大きく成長させてくれます。自分で考え、知恵を絞り、時には人の手を借りることで、素晴らしい経験をも

たらしめてくれます。苦勞や困難に立ち向かわず逃げればかりいたら、まったく向上心も進歩もない自分になってしまうのではないのでしょうか。

自分の夢をかなえるため、夢に近づくためには近道はありません。時にはあえて険しい道を進み、傷つきながら成長していくことも必要になると思います。苦勞や困難に出会った時は、これは自分を磨くチャンスだと思ひ、それに立ち向かって行けるような強い人間になつてもらいたいと思ひます。

角中生であることを誇りに思ひ、より高く大きく羽ばたいてください。

(三B) ほのか

卒業おめでとう

翠明 栄えある三十期生に

三年部主任 高山 昭弘

平成二十四年四月、入学式の日、角館小からの学友が亡くなり、悲しみの中でスタートしたことが昨日のように思い出されます。

一〇八名でのスタート。転出入があつて、現在一〇七名の仲間たちが卒業を迎えます。諸行事や部活動、先輩たちの後を追うように、ついて行くのがやっとだったのが、今や凛々しく逞しくリーダーとして成長した姿が眩しく頼もしく感じられます。

にぎやかな学年の生徒たちですが、修学旅行で沖縄戦の歴史にふ

卒業おめでとう

三年学年部長 橋本 由紀子

三十期生の学年カラー緑色にちなみ、「翠」の字を用いた学年ネーム「翠明」。三年前「その明るさは絶えることなく、爽やかに輝き(光沢)、純粋な心をもち続け(よごれない)、強い団結力(結晶)をもった学年の生徒」という期待が込められ翠明学年はスタートしました。

常に明るく純粋に輝き、仲間との強い絆を築いた三年間。その傍らにはいつも友達がいて、たくさん喜び・楽しみ・感動・悲しみ苦しめ・悔しさなどを一緒に分かち合つて過ごしてきたのではないのでしょうか。これから先もたくさ

れ、共感し、涙する場面もありました。この優しさは、ご家庭の愛情の賜だと思えます。

「その明るさは絶えることなく、爽やかに輝き(光沢)、純粋な心をもちつづけ、強い団結力(結晶)をもった学年の生徒」を「翠明」に託してきました。道端の草の匂い、曲がり角の景色、爽やかな挨拶を交わした町の人たち、通学路には数多くの思い出が詰まっています。通い慣れたすずかけの道から、新しい道への旅立ちです。

んの出会いが待っています。ここで共に過ごした友人はかけがえのない大切な存在になるはず。四月からの新しい生活には期待以上不安や心配があると思いますが、友、家族、故郷角館…あなたを取り巻く全てがあなたを支えてくれます。自信をもって夢に向かつて進んでください。

最後にありますが、親子で個性豊かな翠明学年を熱心にご指導くださいました先生方、共に温かく見守ってくださいましたご父兄の皆様方に、心より感謝申し上げます。

(三D 祥花)

明るい未来へ

戸澤 喜美子

翠明学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、三年間子供たちをご指導してくださいました先生方、本当にありがとうございます。

三年前の桜の蕾が膨らむ頃、少しだけ緊張して迎えた入学式。あれから、こんなにも早く卒業する日が訪れるとは思いませんでした。中学生となり、友達と過ごした大切な時間。一生懸命頑張った部活動や、楽しかった学校行事。どれも全てが、大切な思い出になったと思います。

皆さんは、これから始まる自分の目指した未来へ、一歩ずつ確実に進んでいきます。喜びや楽しみもあり、時に苦しくて、涙を流すこともあると思います。けれども今の皆さんなら、どんな事にも向かって進む、勇気と体力をもって挑戦する心をもち、思いっきり頑張ってください。

最後に、お世話になった方々への感謝の心を忘れず、自分の人生を、自分らしく歩んでください。

(三A 秋斗)

エール

渡邊 信子

翠明学年の皆さん、この三年間はあっという間に過ぎましたか。そう感じている人もいると思いますが、こんなにも心を鍛えられた三年間はなかったことでしょう。小学生の時のように無邪気に楽しく思っていたことも中学生になるとそうではありません。いろいろ

ろなことに悩んだり、不安や焦りで眠れなくなったりと自分の心と向き合うという経験をたくさんしてきたと思います。でもその経験は確実にあなたたちを成長させているのです。すずかけ祭で三十分以上に及ぶ「大いなる秋田」の合唱を聴いた時、皆で一つのこと、真つ直ぐ挑む堂々とした姿にとても感動しました。この三年間、たくさんの成長を私たちにを見せてくれて本当にありがとうございます。

これからはそれぞれに選んだ道で新しい事に挑戦していくことでしよう。何かを決断し前へ進む時は一人です。でも仲間も同じように前に進もうとしています。一人の努力の姿が皆の励みになることを忘れないでください。私たちはいつまでも応援しています。卒業おめでとうございます。

(三B 朋樹)

幸せを願って

佐藤 滋子

翠明学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育を終えて、これから、自分の足で外の世界に歩き始める時が来ました。

中学校の三年間では、友達と出会い、部活動に励み、すずかけ祭などの行事に参加し、楽しいことばかりではなく、挫折も経験したことでしょう。そのひとつひとつが、皆さんを、確実に成長させてくれたはず。長い人生の中で無くてはならない、大切な三年間だったと思います。

そして、親である私たちも皆さんと一緒に、何かしら成長できたのではないのでしょうか。人間は、いくつになっても、成長していく

ものだと思っています。今、皆さんの前には、新しい未来が広がっています。希望ばかりではなく、不安な時もあると思います。でも、大丈夫です。皆さんの幸せを祈っている人がいます。心から応援してくれる人が、必ずそばにいます。その事を胸に、どうぞ新しい未来に向かって、顔を上げて進んでください。

(三C 里花)

諦めないで

佐々木 真知子

翠明学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間あたたかくご指導して下さいました先生方、ありがとうございます。

中学校生活は、どうでしたか？振り返ってみてください。楽しかった、嬉しいことはよい思い出として心に刻み、悩んだり、立ち止まり考えたりした時は、一人で抱え込まずに友達や親に相談してください。

春から皆さんは新しい場所、新しいスタートを切り、大人への一歩を踏み出しそれぞれの夢に向かって少しずつ歩みます。

中学校での仲間を大切に、さらに新しく出来た仲間を信じ、くじけそうな時は、すべての仲間を信じてください。みんな夢は違うけれど、夢に向かって仲間で

一歩一歩を大切に、少しずつ少しずつでもよいので、自分の夢に向かって進んで行ってもらいたいと思います。

ここ角館中学校で学んだことを誇りに、夢、希望を諦めないで。

(三D 知絵)